

赤峰市民広場の産業用地化に伴うスポーツ施設の代替検討 及びスポーツ施設再編検討の進捗について

河内長野市文化・スポーツ振興課

1. 概要

本市スポーツ施設については、人口減少社会の到来、市民ニーズの変化、大規模災害や老朽化の対応など様々な課題が顕在化しています。また、赤峰市民広場の産業用地化に伴い、影響を受けるスポーツ団体の活動の継続性を担保するための代替施設の設定が必要となっています。これらを踏まえ、将来にわたるスポーツ振興やまちづくりの方向性を見据えた再編を検討するにあたっての基礎調査を実施しました。

調査にあたっては、赤峰市民広場のニーズ対応を優先検討課題とした上で、短期的には現状に応えられる代替候補施設の選定を進めながら、中長期的な視点から見た施設再編の必要性を検証しました。

2. 代替施設について

(1) グラウンドの利用に係るもの

利用する曜日、時間帯ごとに下記の施設を想定。

■ 昼間

	場所	備考
平日	旧長野北高校	代替施設
	大師総合運動場	従来利用の空き区分
	下里総合運動場	従来利用の空き区分
土日祝	場所	備考
	閉校後の南花台小学校	代替施設
	旧長野北高校	代替施設
	千早赤阪村民運動場	上記2施設の補完的利用
	学校法人P L学園内グラウンド	
学校開放事業の拡張	南花台中、美加の台中の少年軟式野球練習	

■ 夜間

	場所	備考
平日	市内既存施設への照明設備の設置	候補地の選定が必要
土日祝	千早赤阪村民運動場	照明設備既設
	学校法人P L学園内グラウンド	照明設備既設

(2) 野外ステージ控室の利用に係るもの

平日、土・日・祝日、時間帯に関わらず、下里コミュニティルームを想定し、不足がある場合はキックス等他の既存屋内施設、閉校後の南花台小学校体育館等の活用を想定。

	場所	備考
平日	下里コミュニティルーム	従来利用の空き区分
土日祝	キックス、コミュニティーセンター等	従来利用の空き区分
	閉校後の南花台小学校体育館	代替施設

3. スポーツ施設の再編について

(1) 既存施設を活用した利用調整【短期的視点】

赤峰市民広場を利用する団体がこれまでの活動を継続できるための代替案を前述のとおり整理しました。整理にあたっては、施設の稼働状況を精査し利用内容、練習、大会等すべての利用機会が確保されるよう調整案を検討しました。

(2) 既存施設の高機能化と新拠点の整備【中長期的視点】

- ・スポーツ種別ごとに求められるニーズに対して、より効率的、合理的な施設運用が図れるように、既存施設の高機能化を検討、推進します。
- ・市のスポーツ振興及び将来のニーズに応えられる新拠点の整備を検討、推進します。
- ・河内長野市のスポーツ振興の方向性を示し、誰もがスポーツを通じて成長できる環境づくりに取り組むとともに、次世代にわたって持続可能なスポーツ施設の運営を目指します。

(3) 再編プランについて

短期的には代替施設と既存施設を整備しながら、中長期的には都市計画やまちづくりとの連動性の程度に応じて、時系列に沿ったメニューを検討します。プランの具体化に向けて令和5年度においては、スポーツ施設再編基本構想を策定するとともに、産業用地化による土地売却等の利益をスポーツ施設の再編に充てるために新たな基金を創設します。

(4) 再編パターンの考え方

現状のスポーツ活動環境を今後も継続して維持しつつ、都市計画・まちづくりとの連動性の程度に応じて、時系列に沿ったプランを想定しました。

・プラン①

中長期的な施設経営の観点から、老朽化の顕著な施設を段階的に廃止する案。新規施設の整備や大規模改修等は最小限に抑え、市民のスポーツ活動環境維持の観点から必要な施設の高機能化等を実施します。

・プラン②

中長期的な施設経営とまちづくり機能強化の両視点を折衷した案。市民のスポーツ活動環境維持の観点から、機能の維持が長期的に必須かつ老朽化が進行する施設は大規模改修または全面立替を中心に検討します。まちづくり機能強化の観点から、北部の千代田/寺ヶ池エリアにおけるニュースポーツ需要の新たな受け皿整備を検討します。

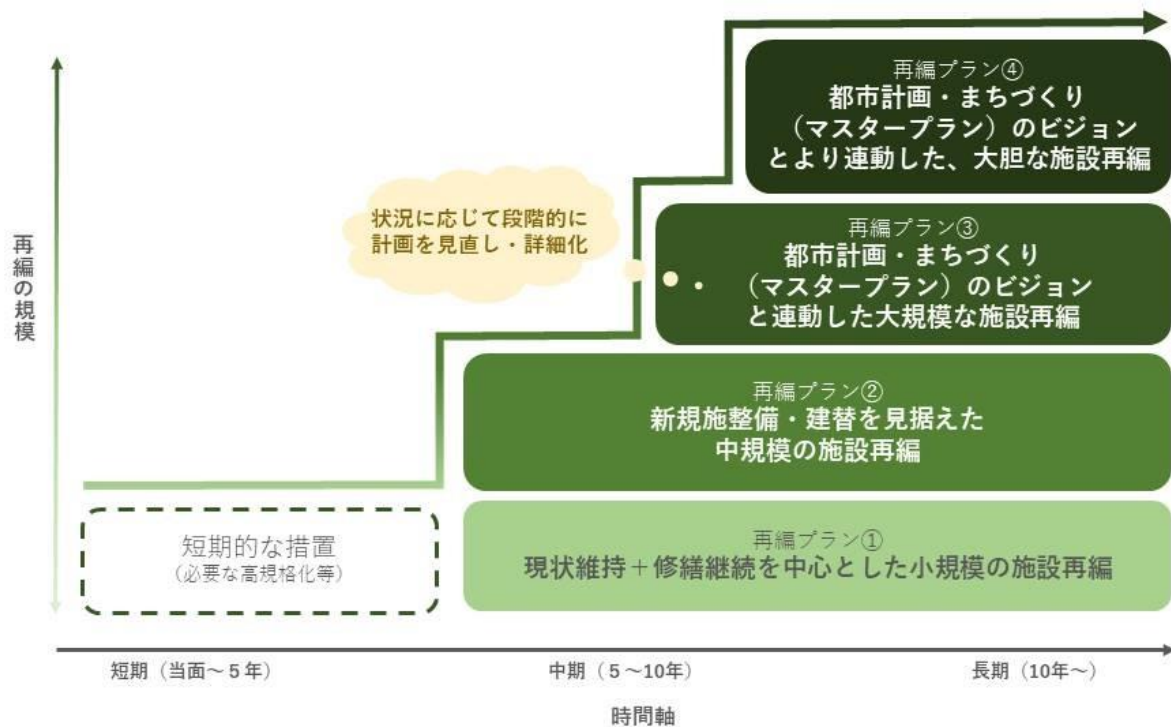
・プラン③

まちづくりやエリア価値向上の観点から大規模な施設再編及び新規施設整備を検討する案。各エリアで展開されるスポーツ活動や長期的な都市計画の発展性を考慮しながら、エリアコンセプトを高い次元で実現する施設メニューを用意。まちづくり機能強化の観点から、北部の千代田/寺ヶ池～長野北高校跡地エリアにおけるスポーツを核としたエリア価値向上策を検討します。

・プラン④

まちづくりやエリア価値向上の観点からさらに大胆な施設再編及び新規施設整備を検討する案。各エリアで展開されるスポーツ活動や長期的な都市計画とさらに連動させつつ、エリアコンセプトを高い次元で実現する施設メニューを用意。まちづくり機能強化の観点から、小山田地域等、新たに整備される幹線道路沿道の低未利用地を候補に、新規スポーツフィールドの整備、展開を検討します。

【イメージ図】



4. 今後のスケジュールについて

【令和5年度】

- 4月 赤峰市民広場を主に利用する団体と代替施設の利用について個別に協議
スポーツ施設再編基本構想の検討
 - ・再編パターン、事業手法、事業費等の精査
 - ・整備イメージ（パース等）の作成 など
 ※9月までに一定の報告書を作成
- 5月 総合スポーツ振興会総会にて進捗を報告
- 9月 市議会に下記の議案を上程
 - ・代替施設の使用に関する補正予算（グラウンド整備、駐車場整備、既存設備の改修・撤去、施設使用に要する経費等）
 - ・「河内長野市立赤峰市民広場条例」の廃止条例
 - ※施行日については、産業用地化の進捗を見ながら教育委員会規則にて別に定める。
 - ・（仮称）スポーツ振興基金条例
- 10～3月 代替施設の整備（設計等）

【令和6年度】

- 4～6月 代替施設の整備
 - 赤峰市民広場から代替施設へ運用を移行
 - 6月末までに赤峰市民広場の運用を停止予定